

【平成28年度の取り組み】

○希少動物への配慮が必要な地域における銃による捕獲の検討

・平成27年12月に開催した根室市国有林内エゾシカ対策協議会において、根室市が検討している落石岬エゾシカ越冬地一斉捕獲駆除事業が効率的に実施できるよう、国有林内のエゾシカを銃で捕獲しながら落石岬方面へ追い払った上で同事業を実施することを検討した。しかしながら、地形条件など銃による捕獲は危険と判断されたことから、国有林内での追い払いは実施することができず、同事業を実施することとなった。



エゾシカ越冬地一斉捕獲駆除事業

○囲いワナによるエゾシカの捕獲効率の向上

- ・エゾシカが囲い部に入りやすくなるよう囲い部の落とし扉を一回り大きくするとともに、雄ジカに囲いワナや落とし扉が破壊され逃出不なるようベニヤ板等を用いて強化を図った。
- ・夜間における囲いワナによる捕獲の有効性を検証するため、囲いワナ内に投光器を設置しエゾシカを刺激しないよう赤い袋を被せて夜間照明をしたところ、誘引可能であることが確認できた。
- ・業務を効率よく実施できるように、エゾシカが誘引されやすい時間帯を把握するため、囲いワナ入口及び内部にセンサーカメラを設置しエゾシカの誘引状況を把握した。



改良した落とし扉

【成果】

- ・昨年までの実施状況から囲いワナ内部へは夕方から入り始める傾向があることが想定されたので夜間照明により実施したところ、平成28年度は昨年よりも34頭多い138頭捕獲できたところであり、そのうち夜間捕獲は113頭（81.9%）であった。
- ・エゾシカの時間帯別の誘引状況が把握できたため、日没前～19時頃まで、及び就寝前に集中して監視、捕獲することにより業務の効率化が図られた。
- ・落石岬エゾシカ越冬地一斉捕獲駆除事業に協力し102頭のエゾシカが捕獲された。



夜間時の囲いワナ内部

【今後の課題】

- ・夜間照明は有効ではあるもののモニターにはエゾシカの頭数など明確に確認できないため、最も多く入っているタイミングで扉を落とすことができるよう改善が必要である。
- ・エゾシカの生息数を把握するため、今年度から実施しているカメラトラップ法により検証する。また、被害状況を把握するための手法を検討する。

囲いワナ誘引状況（時間帯別）

